



# 「消防学校ニュース」

平成 29 年 4 月 14 日発行

## ◆ 第 87 期初任科入校式 ― 新しいスタート ―

平成 29 年 4 月 1 日、校長、教官 5 名、職員 1 名の 7 人が定期異動で着任し、新体制の下で消防学校の平成 29 年度が始まりました。

4 月 5 日(水)午前 10 時に、県内 16 消防本部から集まった第 87 期初任科 109 名(うち女性 10 名)の入校式を行いました。前年度に採用された 3 名を除き、初任科生は本年度 4 月に採用されたばかりで、消防の知識、技術、心構えなど消防職員としての基本を消防学校で身に付けていきます。

入校式では、杉保聡正静岡県危機管理部長、青山雅行静岡県消防長会会長(静岡市消防局長)から大きな期待と力強い励ましのお言葉をいただきました。御出席いただいた県内各消防本部の消防長や御家族など多くの皆様の温かい眼差しが注がれる中、かつて経験したことがないであろう、半年間にわたる厳しい訓練生活がスタートしました。

### 静岡県危機管理部長祝辞



### 消防学校長式辞



### 入校生代表宣誓



### 静岡県消防長会会長祝辞



### 学生入校受付風景



## ◆ 最初の関門・・・入校式前の入校受付

入校生にとって最初の大きな関門は、消防学校教官による入校受付。

駆け足行進の足並みが揃っているか、制服の着こなしがしっかりできているか、大きな声が出ているかなどを、受付の教官がチェックします。

4 月 1 日付けで市町消防本部に採用されたばかりの消防職員達は、各所属で直前に指導を受けてはきますが、この受付を 1 回でパスすることは滅多にありません。

3 ヶ月経てば、1 回でパスできるだけの規律が身に付いてきます。